

国内外規格・認証制度研究会(第23回)議事録

日時: 2012年3月13日(火) 15:00~17:00

場所: 富士通総研会議室(竹芝)

出席者(敬称略): 加藤(康)、日下、田代、三島、福田、折笠(記録)[合計6名]

【議事要約】

1. 最新情報共有(BCAO情報等)(折笠)

(1) B C A O 運営会議より

(a) スケジュール関係

- ・研究会・勉強会発表会: 4月18日(水) 10:10-、15:50-
- ・BCAOアワード表彰式: 4月18日(水) 13:30-
- ・BCAO総会: 4月25日(水) PM

(b) JIPDECよりのBCMS適合性評価制度の説明

(2) ISO/TC223 状況(ISO, JSA より)

ISO や JSA (日本規格協会) よりの TC223 最新情報の紹介。

- ・ISO/FDIS 22301 BCMS 要求事項 (2011年12月20日登録・投票中、
JSAより日本語対訳版3月発行予定、2012年4月~6月頃IS化予定)
- ・ISO/FDIS 22300 用語 (同上)
- ・ISO/DIS 22313 BCMS 指針(DIS投票中、PAS 22399の代わり)
- ・ISO 22320 危機管理 - 危機対応に関する要求事項(2011年11月2日IS発行済)
- ・ISO/DIS 22398 (DIS投票中)

2. 研究テーマ発表(3)(担当メンバー)

【研究テーマ】東日本大震災における事業継続行動の経験と教訓の規格への反映

(1) ISO/FDIS 22301 BCMS 要求事項(加藤(康)様)

- ・本規格は現在、最終国際規格原案(FDIS)の投票中(2012年2月1日投票開始)であり、FDIS が公開されたため、第21回のDISの検討に加えて検討を行った。
- ・FDIS と DIS の主な変更点を調査。
 - ・目次構成が整理され、「マネジメントのコミットメント」、「マネジメントレビュー」、「コミュニケーション」に関する事項の条項が集約された。
 - ・DIS では採用されていなかった、RTO や RPO、MBCO(maximum business continuity objective)、MAO(maximum acceptable outage)などの BCM テクニカルタームが復活、採用されている。
 - ・その他、外部コミュニケーションに関する事項やマネジメントレビューに関する事項の追加あり。
- ・なお、目次構成が変わった理由には、ISO Guide83 において MSS 統一化の方針が出ており、ISO 22301 がそれに準拠する最初の規格になるためとのこと。
- ・東日本大震災で見られた事例について検討し、以下のとおり分類。
 - 分類 : 規格にあり実現された規定
 - 分類 : 規格にあるが実現されなかった規定
 - 分類 : 規格になかったが実現された好例
 - 分類 : 規格になかったが実現されるべきだった理想

- ・「事前対策の推進による早期の生産再開」:取引先からの指導でBCP策定
- ・「工場賃貸等による早期の生産再開」:自社工場をサプライヤへ提供し、部品確保
- ・「地域貢献」:工場を地域住民の避難所として開放、被災者の新規採用
- ・「情報発信」:顧客への外部コミュニケーションの迅速な実施
- ・「臨時店舗で営業継続」:非常時開店の基本方針の浸透
- ・「同業者による相互応援」:災害時相互応援協定（相互応援を戦略策定）、（対応策の例示に相互応援なし）

3. その他の情報等

- ・ 4月18日の研究会・勉強会発表会の報告資料(作成中)を紹介。発表会までに研究会開催は予定せず、必要に応じて、コメント依頼を行うので、その際はよろしくお願いします。

4. 次回開催予定

- ・ 日時:未定[来年度研究会メンバー登録後、速やかに開催予定]
- ・ 議題:
 - ・ 2011年度研究テーマの総括
 - ・ 2012年度研究テーマの検討、等

以上